

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆国の借金1323兆円、9年連続過去最高 24年度末時点

・財務省は国債と借入金、政府短期証券を合計した「国の借金」が、2024年度末時点で1323兆7155億円になったと発表。前年度から26兆5540億円増えて、9年連続で過去最高を更新。政府の支出を税収でまかないきれず、借金が膨らむ構図続く。税収で返済する必要のある普通国債の発行残高は1079兆7344億円。前年度から26兆818億円増。

◆3月の景気動向指数、4カ月ぶり低下 基調判断は維持

・内閣府が発表した3月の景気動向指数(GI、2020年=100)は足元の経済状況を示す一致指数が前月から1.3ポイント低下し116.0に。低下は4カ月ぶり。基調判断は「下げ止まりを示している」で据え置いた。トヨタ自動車系で自動車用のバネを手掛ける中央発条で3月に爆発事故が発生。完成車への影響もあり耐久消費財出荷指数などがマイナス要因。

◆最大1億円の懸賞金、業務効率化のAI開発に 経産省

・経済産業省は製造業の課題解決や行政業務を効率化する人工知能(AI)の開発を対象にした懸賞金を設けると発表。優れたAIアプリを開発した参加者に最大1億円の成功報酬を支払う。経産省傘下の新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の事業として行う。従来から報酬額を引き上げ。参加者の増加も狙う。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆タカスタンダード、新築向け好調で売上高過去最高に—25年3月期決算

・タカスタンダードが発表した2025年3月期連結決算は、売上高が2433億円(前期比3.7%増)で過去最高。新築住宅向けの販売が戸建て・集合ともに好調に推移。セグメント別でみると、住宅設備関連事業の売上高は2431億円(前期比3.7%増)、営業利益は154億円(同26.6%増)。

◆日本製鉄の純利益43%減 26年3月期、トランプ関税が打撃

・日本製鉄は2026年3月期の連結純利益(国際会計基準)が前期比43%減の2000億円になる見通しだと発表。5年ぶりの低水準となり、事前の市場予想(QUICKコンセンサス、5071億円)を約6割下回る。トランプ米政権による関税政策の影響などで鋼材需要が落ち込む。在庫評価差損も響く。売上高にあたる売上収益の予想は未定とした。

◆中古住宅再生販売のカチタス、25年3月期は12%増益

・中古戸建て住宅の買い取り・再生販売を手掛けるカチタスが発表した2025年3月期の連結決算は、純利益が前の期と比べて12%増の95億円だった。安価な住宅へのニーズの高まりと空き家物件の増加を背景に、仕入れ物件と販売がそれぞれ増えた。営業利益は12%増の142億円で過去最高。売上高は2%増の1295億円だった。

《 注目商品 》

■コロナ、高圧カパワフル給湯タイプ おひさまエコキュート

・太陽光発電を搭載した住宅の余剰電力を活用し、昼間の時間帯に沸き上げ運転を行うヒートポンプ給湯機。ガス給湯器と比べると給湯光熱費を約61%節約し、CO2排出量を約78%抑えられる。給湯圧力を従来機種の約1.5倍に高めた高圧カパワフル給湯タイプ。



■シャープ、「液体洗剤・柔軟剤自動投入」機能を搭載した全自動洗濯機

・従来の洗濯容量11kg・10kgモデルに加え、新たに8kgモデル<ES-SV8K>にも「液体洗剤・柔軟剤自動投入」機能を搭載。洗濯のたびに最適な量の液体洗剤や柔軟剤を自動で投入。自動投入タンク内の残量が少なくなると、「COCORO HOME」でお知らせ。



■LIXIL、ハイブリッドサッシを拡充

・業界最高クラスの断熱性と強度を実現するビル新築用アルミ樹脂複合サッシ「PRESEA-H」に、換気用小窓となるすべり出し窓を追加。また、分譲マンションの大規模改修向けに、カバー工法の「PRESEA-H・RF」引き違い窓を刷新。

